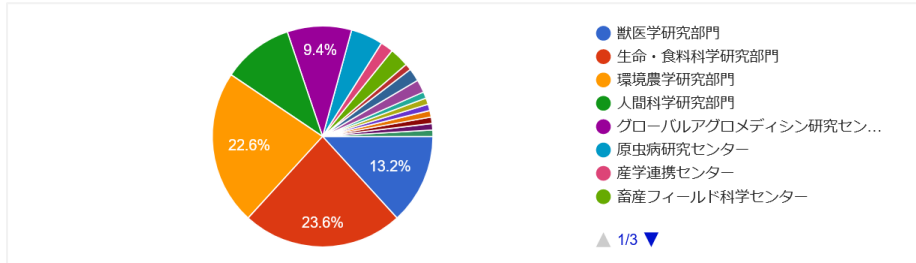


「電子ジャーナルの利用に関するアンケート」回答集計

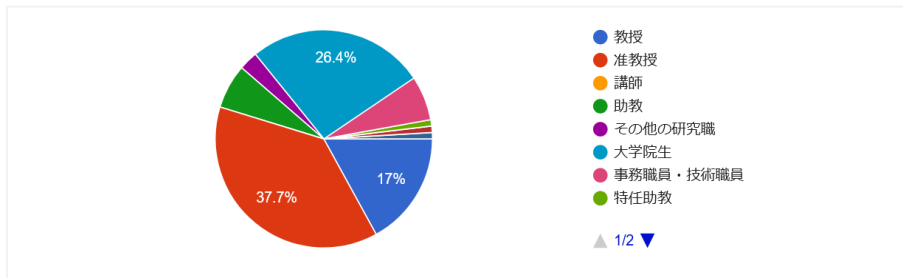
1. 回答者属性

1-1. 所属



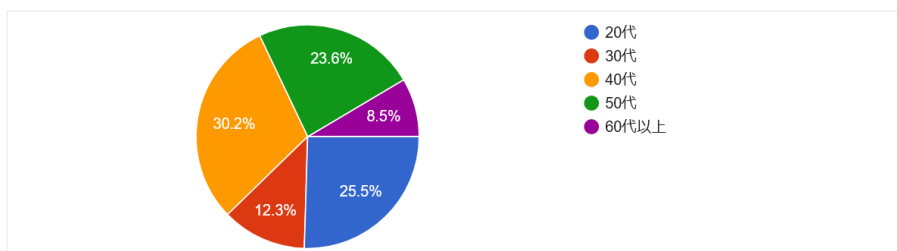
部門等	獣医	生命食料	環境農学	人間科学	その他	合計
回答数	14	25	24	11	33	106

1-2. 職名



職名	教授	准教授	助教	大学院生	その他	合計
回答数	19	40	8	28	11	106

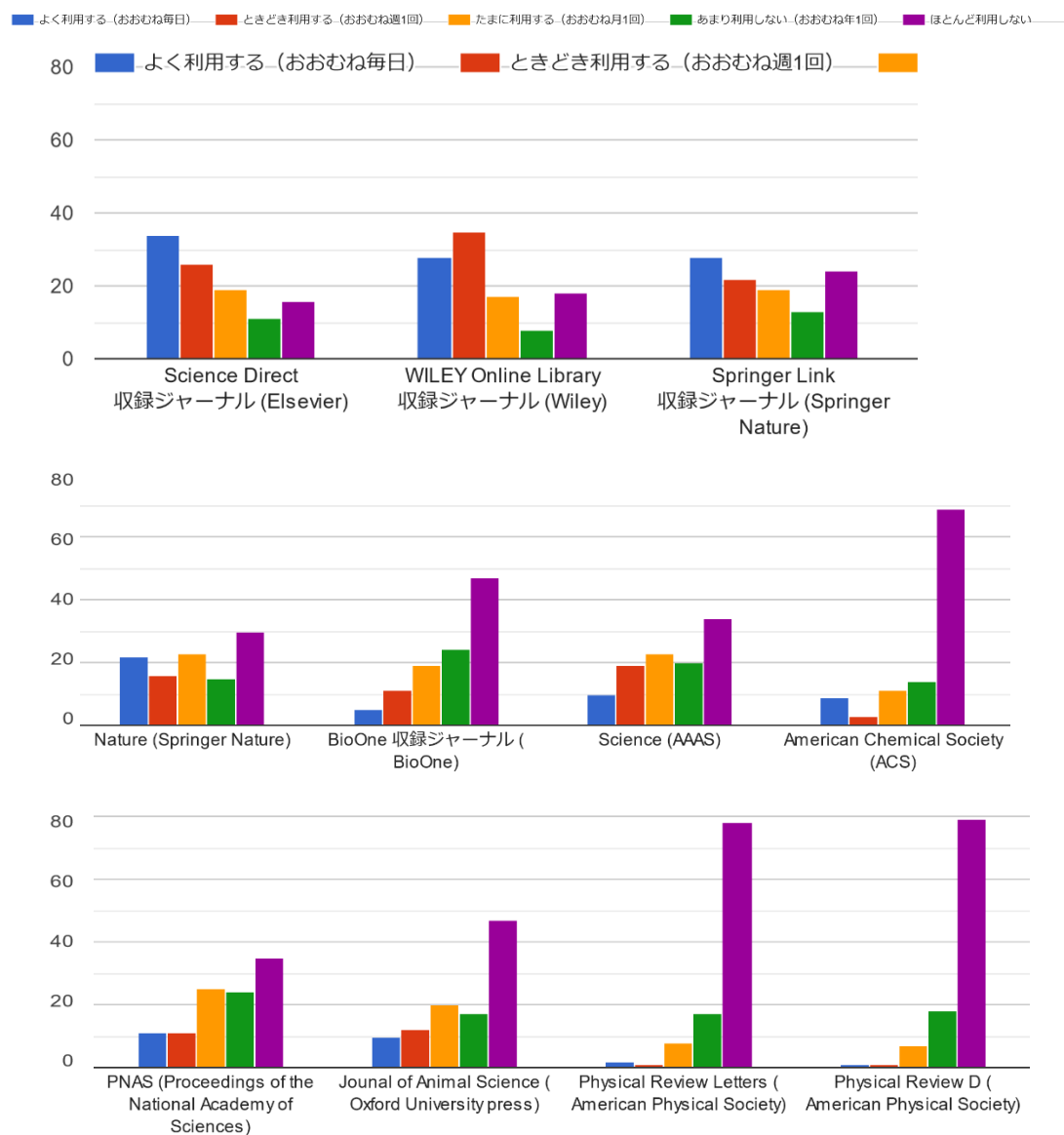
1-3. 年齢



年齢	20 代	30 代	40 代	50 代	60 以上	合計
回答数	27	13	32	25	9	106

2. 電子ジャーナル・データベースについて

2-1. 電子ジャーナルの利用頻度



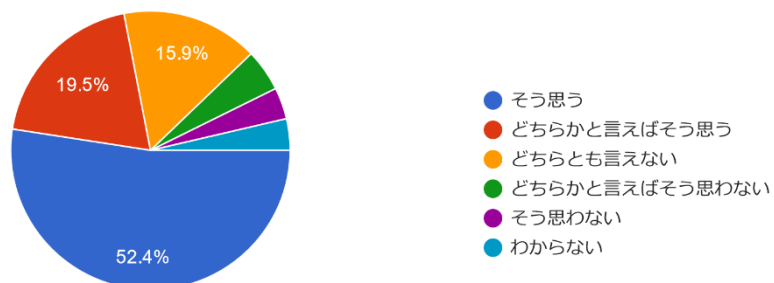
	よく利用する (おおむね毎日)	ときどき利用する (週1回程度)	たまに利用する (月1回程度)	あまり利用しない (年1回程度)	ほとんど利用しない
Science Direct 収録ジャーナル	34	16	26	19	11
WILEY Online Library 収録ジャーナル	28	35	17	8	18
Springer	28	22	19	13	24

Link 収録 ジャーナル					
BioOne 収録ジャー ナル	5	11	19	24	47
Science	10	19	23	20	34
American Chemical Society	9	3	11	14	69
PNAS	11	11	25	24	35
Jounal of Animal Science	10	12	20	17	47
Physical Review Letters	2	1	8	17	78
Physical Review D	1	1	7	18	79

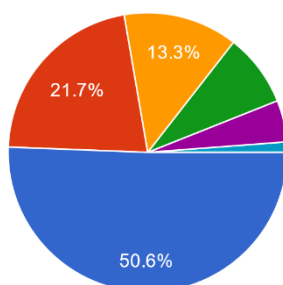
2-2. (3大パッケージを「よく利用する」～「たまに利用する」と答えた方へ)

「購読していないがパッケージ契約により閲覧可能となっている雑誌」も必要だと思うか

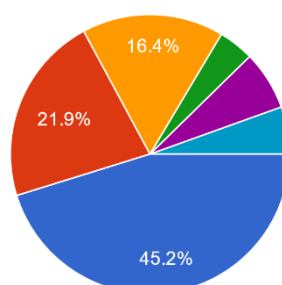
Science Direct



Wiley Online Library

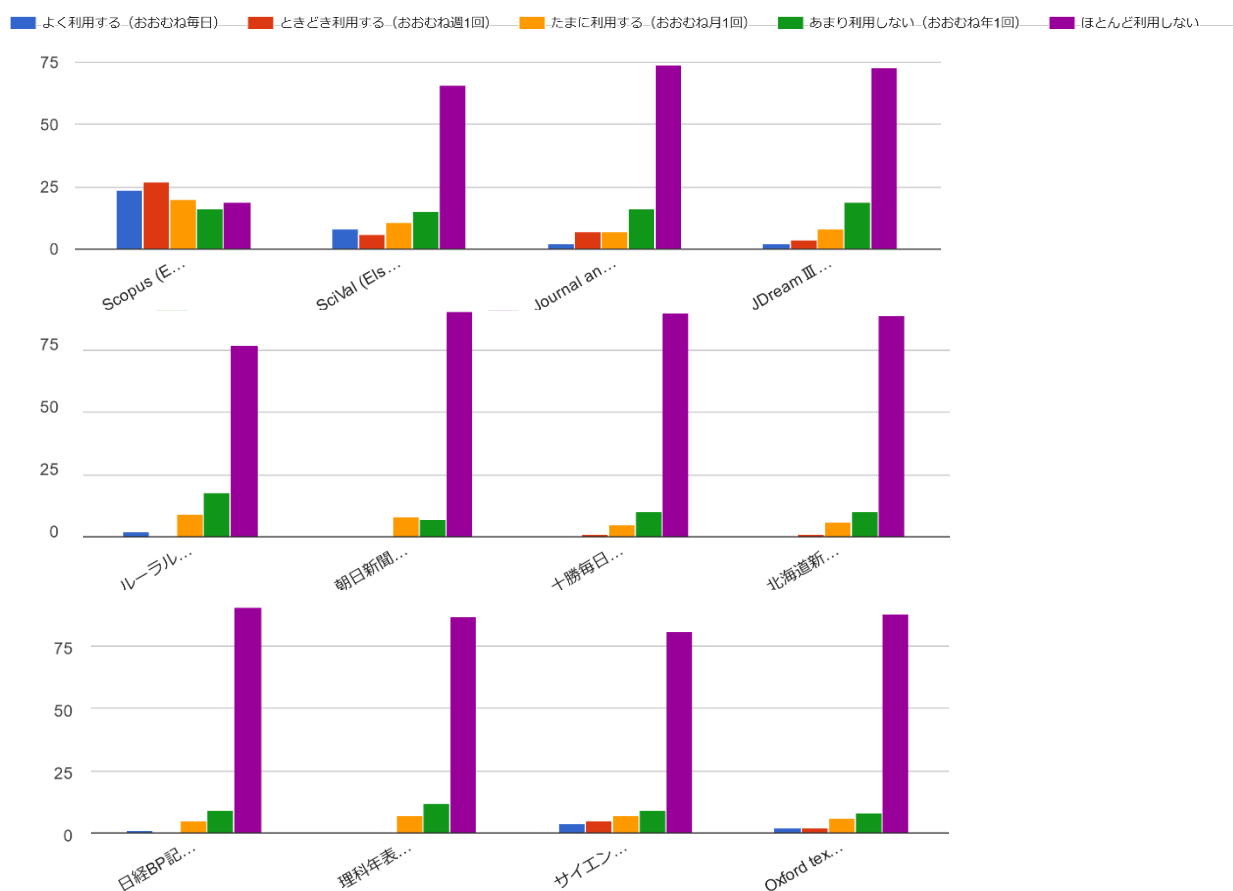


Springer Link



	そう思う	どちらか と言えば そう思う	どちらと も言えな い	どちらか と言えば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い
Science Direct	43	16	13	4	3	3
Wiley Online Library	42	18	11	7	4	1
Springer Link	33	16	12	3	5	4

2-3. データベースの利用頻度



	よく利用する (おおむね毎日)	ときどき利用する (週1回程度)	たまに利用する (月1回程度)	あまり利用しない (年1回程度)	ほとんど利用しない
Scopus	24	27	20	16	19
SciVal	8	6	11	15	66
Journal and Highly Cited Data	2	7	7	16	74
JDreamIII	2	4	8	19	73
ルーラル電子図書館	2	0	9	18	77
朝日新聞クロスサーチ	0	0	8	7	91
十勝毎日新聞WEB版	0	1	5	10	90
北海道新聞データベース	0	1	6	10	89

日経 BP 記事検索データベース	1	0	5	9	91
理科年表プレミアム	0	0	7	12	87
サイエンス・ダイレクト”レファレンスワーク”（電子ブック）	4	5	7	9	81
Oxford textbook of zoonoses（電子ブック）	2	2	6	8	88

2-4. 文献複写の利用頻度

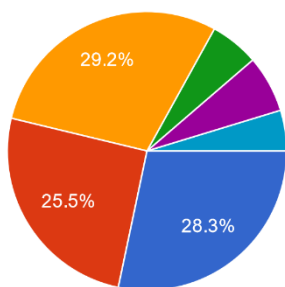
十分に利用している	48
利用しているが、金銭的な負担から十分ではない	5
利用したいが、金銭的な負担から利用できない	13
必要がないので利用していない	33

その他：

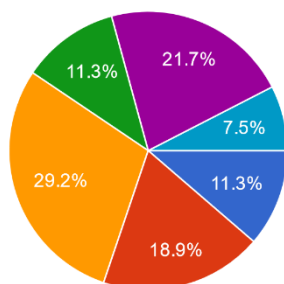
ごくたまに
知らなかった
利用したいが方法がわからない
利用したいが、手続きに時間がかかり、必要な時に手に入れられないため、利用していない

2-5. 今後の電子ジャーナル・データベースの契約について、自身の考えに近いものを選択

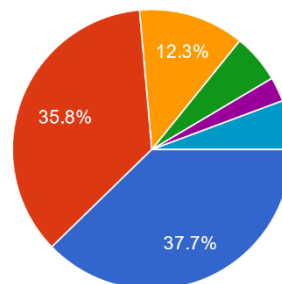
研究や教育に必要～



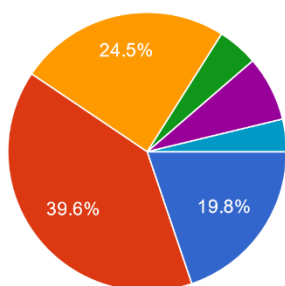
一部を部門や
教員個人の予算～



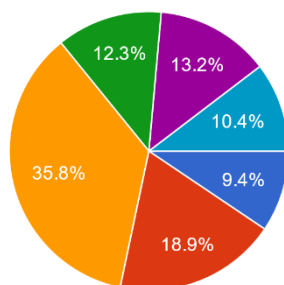
教員公募への応募者数や、
大学院入学志願者数に悪影響～



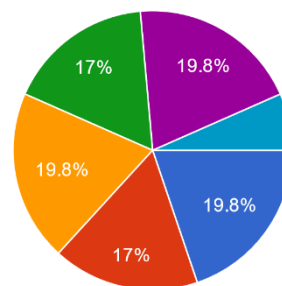
金額の上限を決めて～



オープンアクセスも
増えてきており～



契約を中止する代わりに
文献複写を～



- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない
- わからない

	そう 思 う	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 う	ど ち ら と も 言 え ない	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	わ か ら ない
研究や教育に必要なものなので、もっと色々なものを契約してほしい	30	27	31	6	7	5
一部を部門や教員個人の予算で負担し	12	20	31	12	23	8

てもよいから、色々なものを契約してほしい						
電子ジャーナルやデータベースに十分にアクセスできないことは、今後の本学教員公募への応募者数や、大学院入学志願者数に悪影響を与えると思う	40	38	13	6	3	6
金額の上限を決めて、それを超えるようなら利用者の少ないものから中止するしかない	21	42	26	5	8	4
オープンアクセス出版も増えてきており、arXiv（アーカイブ）のようなプレプリントサーバ等も含め、別の手段で情報を入手するようにすればよい	10	20	38	13	14	11
契約を中止する代わりに、教員の予算の負担なく文献複写を依頼できるとしたら、それにより数日待ち時間が発生したり紙での入手に限定されるとしても納得できる	21	18	21	18	21	7

自由記述：

過去のアクセスやDL数などから必要な雑誌を絞ることをしてもよいかと思います。
契約している雑誌でほぼ読まれていないものがあると思う。それらを抽出すればよいと思う。
「電子ジャーナル」と「データベース」をアンケートで一緒に扱わない方がよいかと思います。「データベース」は論文情報を得るために必須な存在ですが、全ての「電子ジャーナル」は必須ではなく、利便さ故の存在となります。「データベース」は潤沢に、予算上の問題で絞るのであれば「電子ジャーナル」を...という考え方がよいかと思います。
畜大に異動してから契約しているジャーナル数の少なさにびっくりしましたが、単科大学で予算に限りがあること、オープンアクセスジャーナルが増えていること、今の論文出版社の商業的な姿勢に疑問を感じていることを踏まえると、契約を減らして、教員の予算の負担なく文献複写を依頼できるようにした方が良いでしょう。個人的には前職の大学に客員研究員の籍を残して電子ジャーナルにアクセスできるようにしているのと、総合大学に居る先輩や共同研究者に頼んで論文を貰ったりしています。
Web of Science を復活させてほしいです
契約の金額があまりにも高額になるのなら、契約をやめて、ういたお金を本学の教育や研究に活用してほしい。
希望としては食品関係の雑誌が閲覧できればうれしいのですが、予算が関係する以上、どこで妥協するかが問題ですね。
Journal and Highly Cited Data (Thomson Reuters)はJCRを指しているものと考えて回答しました

た。 私が閲覧している論文は基本的にオプション契約の雑誌と思いました。学会誌や古い文献類は閲覧が限られる場面が多いように思うので、これらの文献が取り寄せられる環境の充実が必要と思う。例えば、古い文献は J-STOR から取れるとよいな、と思ったことは何度かあります。
予算が限られているのは理解しますが、研究を進める際に、必要な文献がすぐに手に入らないのは非常にストレスが大きいです。研究論文作成の際に、1つの文献を待つただけに数日待たされるような状況は、出来るだけ少なくして欲しいのが本音です。大学が3大学の連携になったので、3大学でまとめて契約として交渉出来ないのでしょうか？
包括的に契約されていますが、私の分野に関連したジャーナルが3件しかありません。畜産・農業に関連した分野に合うパッケージがないのであれば、包括的な契約をするメリットがほとんど活かされないと感じます。各分野で頻繁に利用するジャーナルを調査し、利用者の多いジャーナルに絞って契約することはできないのでしょうか？
講義のための調べもの、それから境界領域や学際的な分野の研究を進めようと考えたときに、必要と思われるジャーナルにアクセスできないことがすでに何度もありました。また、arXiv と査読が入った論文とでは内容が異なることも多々ありますので、そのまま引用することもできません。その一方で、予算の関係上契約できるジャーナルが減ることも理解できますし、すべての記事を読むことができる契約は無駄だろうなとも感じます。すぐに電子ジャーナルの記事を購入して読むことができるのであれば、図書館を通して個別記事の購入というシステムがあればいいのと思うことが何度かありました。
学認は、教員も学生もみなさん活用しているのでしょうか。→知らなかった、登録がわからないなど見かけます。 欲しい論文が時間かかっても入手できるのなら問題ないと感じております。Abstract はネット上で読めますし、探すことはできます。
電子ジャーナルデータベースの充実は、本学が研究機関として存在するために必要不可欠な基盤だと考えています。ご高配いただけますようよろしくお願い申し上げます。
アンケートで提示されている条件が少なく回答に困りました。例えば、”年間の予算を現行の半分の 2000 万円にした場合には何種のジャーナルを閲覧できる””契約しない（予算 0 円にした）場合は、紙ベースでの入手に平均何日かかる”といった具体的な数値を提示していただくと回答しやすいと思います。ちなみに最後の設問についてですが、卒論・修論の追い込みの時期になると大量の依頼が発生することが予想されます。本学では一日、何件程度が処理できると考えられるのか、また複写依頼先は 1 日何件程度対応可能なのかについての情報があると対応できるのかどうかのイメージをつかみやすいと思います。
どの契約にどれくらい使われていて、利用者がどれくらいいるのかによって、優先順位をつけて契約・継続していくしかないかと思います。
ほぼ「どちらとも言えない」にしているのは、電子ジャーナル・データベースを利活用している方々の成果が明確ではないからです。高額な電子ジャーナルを契約する（あるいはした・している）ことで、それらを活用する方々の業績は向上するのでしょうか。当然、先行研究がみ

られなければ研究は進まないというのはわかりますが、一定程度の先行研究がみられる状況下にある現在、業績数は向上していますか？
現状の体制でも比較的十分ではあると思います。わがままを言えばキリがないので、その辺の調整が悩ましいところですね
米国に留学した際に、電子ジャーナルを自由に閲覧取得できることに驚き感動した。日本の企業ではこのようなことは不可能である。ある程度の契約削減を目指し、文献複写の教員負担を軽減すれば、とくに大きな文句はないのではないかと思料する
必要な論文の PDF だけ簡単に購入できる仕組みがあれば、雑誌の購読を減らしても大丈夫かと思います
Nature neuroscience を購読できるようにして欲しい。
論文は研究を行うにあたり必ず必要不可欠なものなのです。既に限られている研究費でなんとかやりくりをしている状況下なのに、これ以上負担のかかるような研究費からの文献の購入は、研究活動に悪影響を及ぼすと考えられるので現状を維持して欲しいと思います。
maybe you can engage them on contracts on needs basis (ニーズに応じて契約することもできるだろう)
雑誌「Starch」は購読済みと表示されるが、「国立大学法人北海道大学高等教育研究システム、帯広畜産大学はこのコンテンツへのアクセスを提供していません」と表示されることが多い。 Even though, "Starch" journal is listed as subscribed, frequently I ended up getting, "National University Corporation Hokkaido Higher Education And Research System Obihiro University Of Agriculture And Veterinary does not provide access to this content."
電子ジャーナル・データベースの契約が無いと研究の遂行に相当な不便をきたすが、予算に問題があるようであれば利用者の少ないものを中止するのは当然と思う。
nature, science, cell など有名雑誌を読めるようにしてほしい

※英語でのコメントには DeepL 翻訳を使用した訳を()内に補記した

3. APC について

3-1. APC を支払って、論文等を OA で出版する仕組みがあることを知っていましたか。

知っていた	65
聞いたことはあったが、詳しくは知らない	13
まったく知らなかった	28

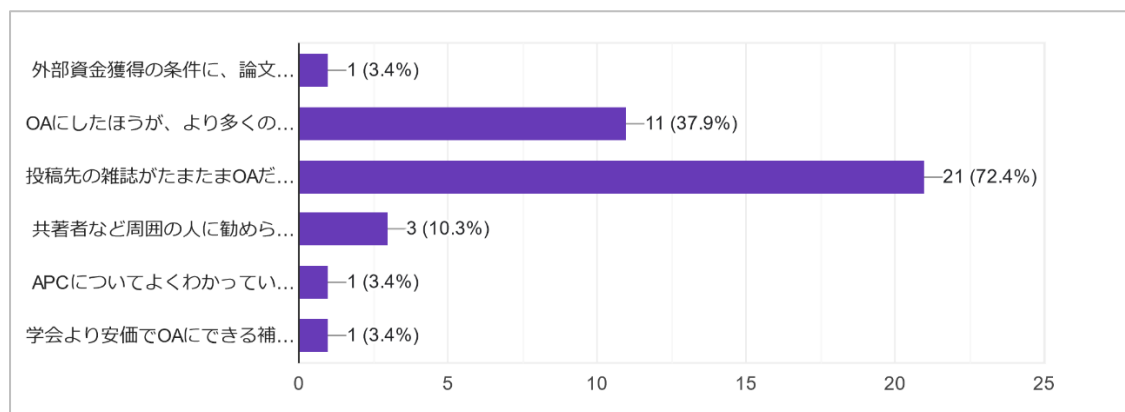
3-2. APC を支払って論文等を OA にしたことがありますか。

ある	28
ない	77

3-3-1. (APC を支払ったことがある方へ) 2022 年度にはおおよそいくらの APC を支払いましたか。予算ごとにお答えください。

	教員研究費など、大学から配分された研究費	科研費等の外部獲得資金	寄付金	私費
0 円	15	18	24	25
10 万円未満	4	1	0	1
10 万円以上 30 万円未満	4	2	1	0
30 万円以上 50 万円未満	4	7	2	0
50 万円以上 100 万円未満	1	0	0	1
100 万円以上	0	0	0	0
わからない	1	1	2	2

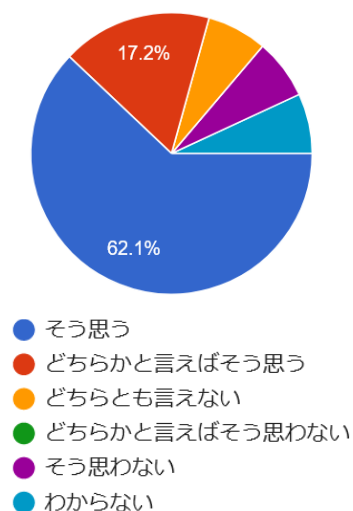
3-3-2. OA にした理由は何ですか。(複数選択可)



外部資金獲得の条件に、論文等の研究成果を OA にすることが含まれていたから	1
OA にしたほうが、より多くの人に読んでもらえる（もしくは引用してもらえる）から	11
投稿先の雑誌がたまたま OA だったから	21
共著者など周囲の人に勧められたから	3
(その他)	
APC についてよくわかっていません	
学会より安価で OA にできる補助（期間限定）を紹介されたため。	

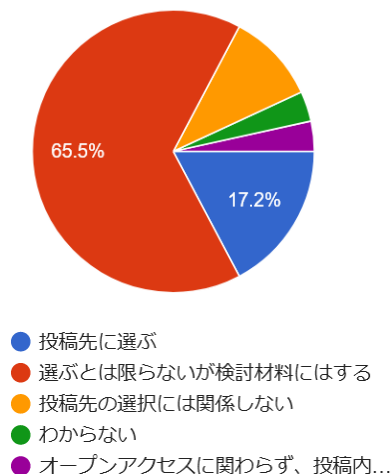
3-3-3. もし大学が APC を負担してくれるのなら、もっと多くの論文を OA にできると思いますか。

そう思う	18
どちらかと言えばそう思う	5
どちらとも言えない	2
どちらかと言えばそう思わない	0
そう思わない	2
わからない	2



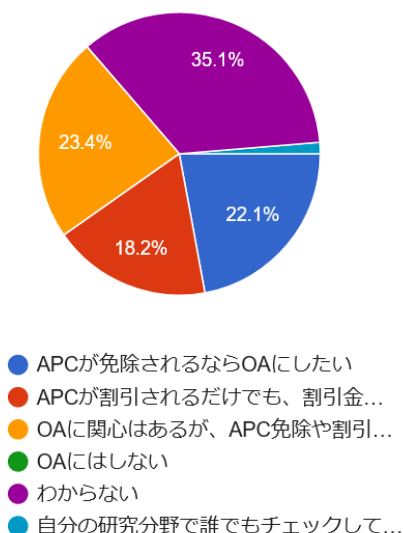
3-3-4. 特定の出版社のジャーナルに投稿する場合に APC が免除あるいは割引になるとしたら、そのジャーナルを投稿先を選びますか。

投稿先を選ぶ	5
選ぶとは限らないが検討材料にはする	19
投稿先の選択には関係しない	3
わからない	1
(その他)	
オープンアクセスに関わらず、投稿内容がジャーナルに合致していること、質の高い論文を掲載していることを基準として投稿先を選択しています。ハゲタカジャーナルのように高い掲載費用を徴収する代わりに低い品質の論文を掲載するジャーナルもあるため、OA に関する補助はそうした投稿を増やす可能性があり、危険であると感じます。	



3-4-1. (APC を支払ったことがない方へ) 特定の出版社のジャーナルに投稿する場合に APC が免除あるいは割引になるとしたら、そのジャーナルから OA 出版したいと思いますか。

APC が免除されるなら OA にしたい	17
APC が割引されるだけでも、割引金額などの条件によっては OA を検討する	14
OA に関心はあるが、APC 免除や割引を理由に投稿先を選ぶことはない	18
OA にはしない	0
わからない	27
(その他)	
自分の研究分野で誰でもチェックしている論文雑誌の場合は、当然大学もしくは研究者は契約していると考えているので APC を支払いたいとは思いません。その他の論文であれば OA 出版を検討しても良いと思います。	



3-5. 論文投稿料や APC につきまして、ご意見がありましたらお書きください。

APC のかかる雑誌の中にはハゲタカジャーナルがあると思う。APC を補助すると審査が緩いハゲタカ雑誌に投稿する人が出てくると思う。研究者のモラルの問題ですが。
科研費で実施された研究の場合、今後、OA 化を強く推奨する流れが進行中です。科学論文の国際競争力が落ち続けている日本の現状を憂いての方針の様ですが、こういった小手先対応ではなく、論文生産力を維持できるような抜本的な改善策が必要かと感じています。おそらく「S20 (Subscribe to Open)」に関する図書館対応を御検討されているかと思います。OA は出版社の戦略以外何者でもありませんので、大きく振られなくてもよいかと思います。
教員研究費が少なくなってきた以上、出せるところしか投稿できません
外部資金無しでは通常の論文投稿料金でさえ賄うのは難しい状況ですし、さらに高額な APC は基本的に対応できません。
北海道大学機構になるので、図書サービス充実すると期待してます。経営統合のメリット、きっとあるはず。図書契約とかオープンアクセス投稿費用とか、巨額すぎて、大学所属の一研究者として困ってます。他国に比べてオープンアクセスの支援制度がまだ十分な整備なく、個人研究者で払うか所属機関が契約でディスカウントするか、です。そういう点では、総合大学強いですね。でも、本学の図書館はいつも懇切丁寧な対応をしてくれて、使いやすいですよ。個人的にも助かったこと多いです。、文献複写のやり取りは、案外いいのではないのでしょうか。
年々論文の投稿料が劇的に高騰しており、論文を一本掲載するために必要な予算は、英文校閲料金を含めると 50 万円をこえることもすくなくありません。更に APC の活用となるとその額は更に高騰します。このことは、特に博士学生の学位取得に対して、指導教員が外部資金により学生の投稿料を支払えなかった場合、修了時期を教員が予算獲得するまで延期しなければならないことになりかねません。本アンケート内容とは逸脱する内容ではあると思いますが、APC 化に対する予算援助と併せて、投稿料の援助についてもご検討いただけますと幸いです。
一定額以上のもので、申請してふさわしい論文については補助すればよいと思う。
高くて困ります。
自分で外部資金を稼いでくればいいのではないですか。
Some journals-Elsevier journals charge extremely high amounts for APC which makes publication a big challenge. (一部のジャーナル-エルゼビア社のジャーナルは APC に非常に高い金額を請求するため、出版は大きな困難を伴う。)

※英語でのコメントには DeepL 翻訳を使用した訳を()内に補記した